

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和3年度取組結果】

団体名	皿倉登山鉄道株式会社
-----	------------

所管課	産業経済局 観光課
-----	-----------

団体に対するミッション
本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の集客など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。

行財政改革大綱における見直し内容
今後も、平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、健全経営の維持に努める。

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	着実な経営改善に取り組む。
-------------	---------------

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H29	H30	R1	R2	R3		R4	R5
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
当期純利益	21,537 千円	24,719 千円	2,849 千円	4,534 千円	当期純利益の確保	△4,101 千円		
純資産	62,846 千円	87,565 千円	90,413 千円	94,947 千円	黒字	90,845 千円		
長期借入金	61,400 千円	56,300 千円	46,100 千円	46,100 千円	市借入金の確実な返済	41,000 千円		

ミッションの遂行状況の評価（令和3年度）

団体における評価	市の観光施策「北九州魅力満喫パスポート事業」による支援はあったものの、新型コロナウイルス感染拡大防止による運休などで運行日数が当初計画の7割に減少した影響により、前期純利益を下回り、収支は10年ぶりの赤字になった。	市の評価	新型コロナウイルス感染拡大による利用者の減や運休があるなかで、夜間運行の実施や本市の需要喚起策に取り組んだが、令和3年度の収支は赤字となった。収支の赤字は、10年ぶりであり、コロナ禍という厳しい状況を反映したものであると考える。
今後の課題及び見直し内容（案）	新三大夜景都市第1位の選定や新型コロナウイルスの感染が落ち着きを背景に、運輸収入はコロナ禍前の水準に戻りつつあり、今後のインバウンドの再開に期待するとともに、市と連携した集客促進策などの実施に取り組む。	団体への改善指導内容（案）	今後の観光客の動向については、未だ不透明な状況にあるが、その都度必要な対策を講じ、令和4年度の収支の黒字化を目指す。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
平成22年度策定の「経営改善計画」（出資金の減資、市への施設設備の譲渡、組織体制見直しによる人件費削減等）により安定した経営を維持していたが、令和2年度に引き続き、令和3年度はコロナ禍に伴う運休等の影響は大きく厳しい経営を強いられる結果となった。	